

I 第33週の発生動向 (2014/8/11~8/17)

1. ヘルパンギーナについては、弘前、上十三保健所管内で第31週より**警報**が継続しています。

II 第33週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科	(90)														0					
(79)	RSウイルス感染症	1	0.1	3	0.3								4	0.1	0			1	0.1	
(80)	咽頭結膜熱	1	0.1	1	0.1					1	0.2		3	0.1	-6			1	0.1	
(81)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	0.3	7	0.7			2	0.3	1	0.3	13	0.3	-20				
(82)	感染性胃腸炎	7	0.9	2	0.2	7	0.7	3	0.6			4	1.0	23	0.6	-24			7	0.9
(83)	水痘	1	0.1	3	0.3	3	0.3	1	0.2	3	0.5	4	1.0	15	0.4	-3			1	0.1
(84)	手足口病	4	0.5	3	0.3			1	0.2					8	0.2	-13			4	0.5
(85)	伝染性紅斑			2	0.2	12	1.2							14	0.3	0				
(86)	突発性発しん	2	0.3	5	0.6	4	0.4	3	0.6	5	0.8			19	0.5	1			2	0.3
(87)	百日咳														0					
(88)	ヘルパンギーナ	31	3.9	37	4.1	45	4.5	13	2.6	71	11.8	4	1.0	201	4.8	-6			31	3.9
(89)	流行性耳下腺炎			1	0.1	1	0.1					4	1.0	6	0.1	4				
眼科	(91)	急性出血性結膜炎													0					
(92)	流行性角結膜炎					1	0.5						1	0.1	-1					
(97)	クラミジア肺炎														0					
基幹	(98)	細菌性髄膜炎													0					
(100)	マイコプラズマ肺炎					1	1.0					5	5.0	6	1.0	3				
(101)	無菌性髄膜炎														0					
(82)	感染性胃腸炎(ロタウイルス)														0					

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

(9) 結核(二類全数把握疾患):弘前1人、八戸4人、上十三2人(2014年計:216人)

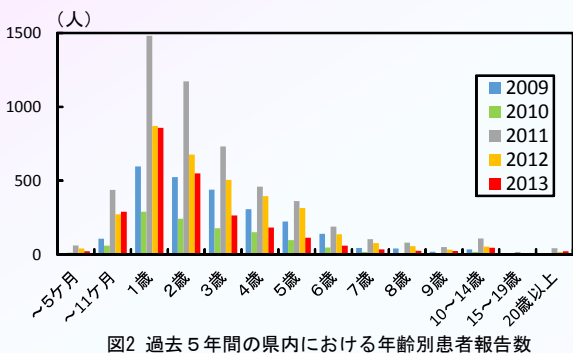
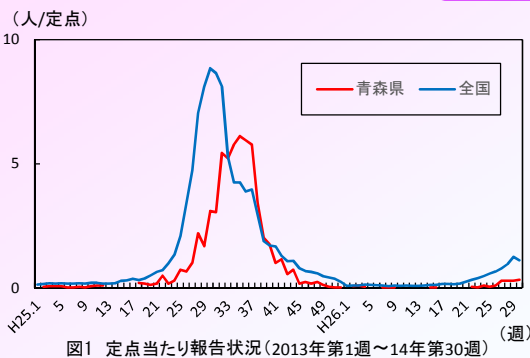
(15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患):東地方+青森市4人(2014年計:9人)

IV 病原体検出情報 ()内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- 急性脳症患者(直腸ぬぐい液、6/10)・・・HHV6B:八戸(1)
- 感染性胃腸炎患者(直腸ぬぐい液、6/23)・・・A群ロタウイルス9型:むつ(1)
- 下気道炎患者(鼻汁、6/11,6/18)・・・ヒトメタニューモウイルス:弘前(2)

感染症の窓

手足口病(五類定点把握疾患)



手足口病は、エンテロウイルスを病原体とする急性ウイルス感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行する疾患です。潜伏期間は3~5日で、その名が示すとおり、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とします。

例年4月頃から患者数が増加し始め、流行のピークは7月の中旬か下旬となり、8月に入ると減少していくといった経過を辿ります。平成25年(2013年)の全国における発生状況は、5月から増加し始め、7月から8月にかけて大きなピークを示し、以後、12月にかけて徐々に減少しました。本県においては、全国より約1ヵ月遅い6月から患者数が増加し始め、8月から9月にかけてピークを示しました(図1)。今年も間もなくピークを迎えるものと予想されるため、その発生動向には注意が必要です。

年齢別患者報告数では、1~5歳の年齢層で多く、1歳が最多でした(図2)。感染経路は飛沫感染、糞口感染、水疱内容からの直接感染です。特別な治療をしなくても治ることがほとんどです。特に、保育園や幼稚園などの乳幼児施設において

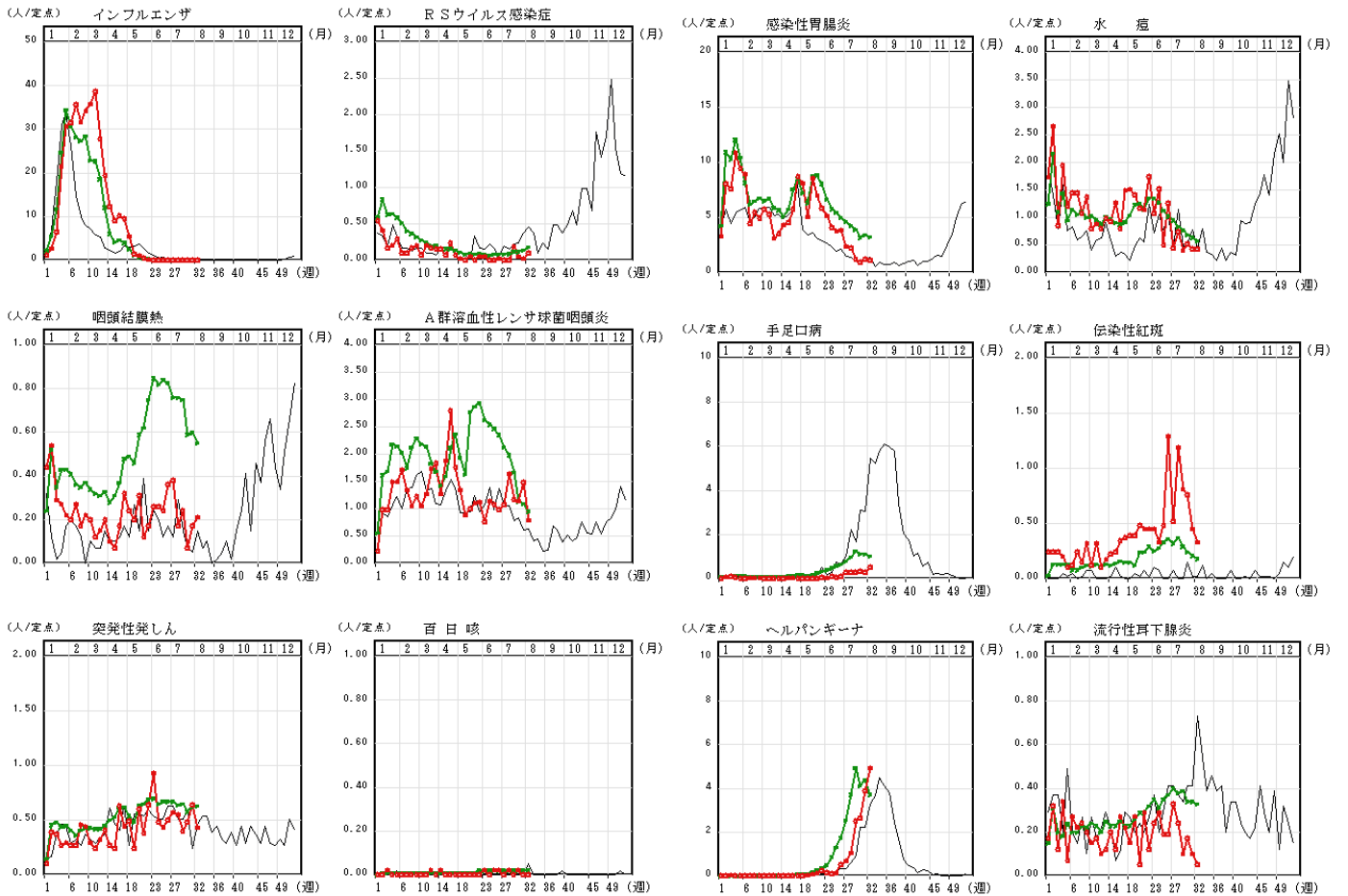


手足口病における水疱性発疹(国立感染症研究所感染症情報センター)

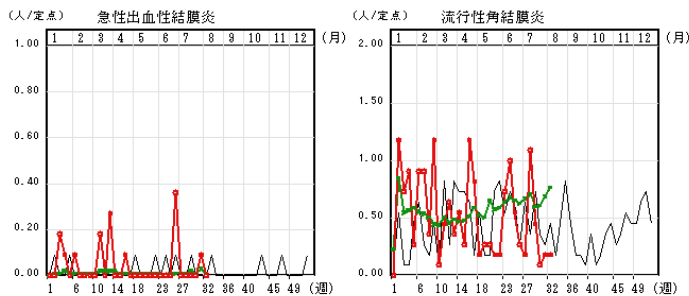
排出物の適正な処理が大切です。

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第32週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、 ×—×は2014年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第32週)



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第32週)

